

「陸前高田市民の奮闘」

警備部機動隊（男性）

全域瓦礫と化した市内の状況は、凄まじいものであり、残っている建物さえ、3階の窓まで瓦礫が突き抜けている。私は重機で排除される瓦礫内から発見される行方不明者の捜索の任務に当たりました。瓦礫の排除は主に地元消防団の方と所有の重機により行われ、初日から3日目までは毎日8名前後の行方不明の方が、発見され、その都度現地災害対策本部経由で現場臨場が下命されました。行方不明者の発見場所について発見場所の団員の方に道路地図を示して「すみません、埼玉なもので現在地を教えてくださいませんか」と尋ねると、みなさん親切丁寧に「ここは〇〇さんちのあたりだからここいらですね」と教えてくれました。作業にあたる方々は消防団のハッピー姿の方もいれば台所で着る割烹着を着ている方もおり、次から次に呼び止められて四苦八苦する我々を手伝うために酒屋の軽トラックを運転して駆けつけてくれる人達もいました。泣きたくなるような現実の中で黙々と作業に奉仕されている市民の方々の姿に「本当に、本当に御苦労さま」と心の中で声をかけました。